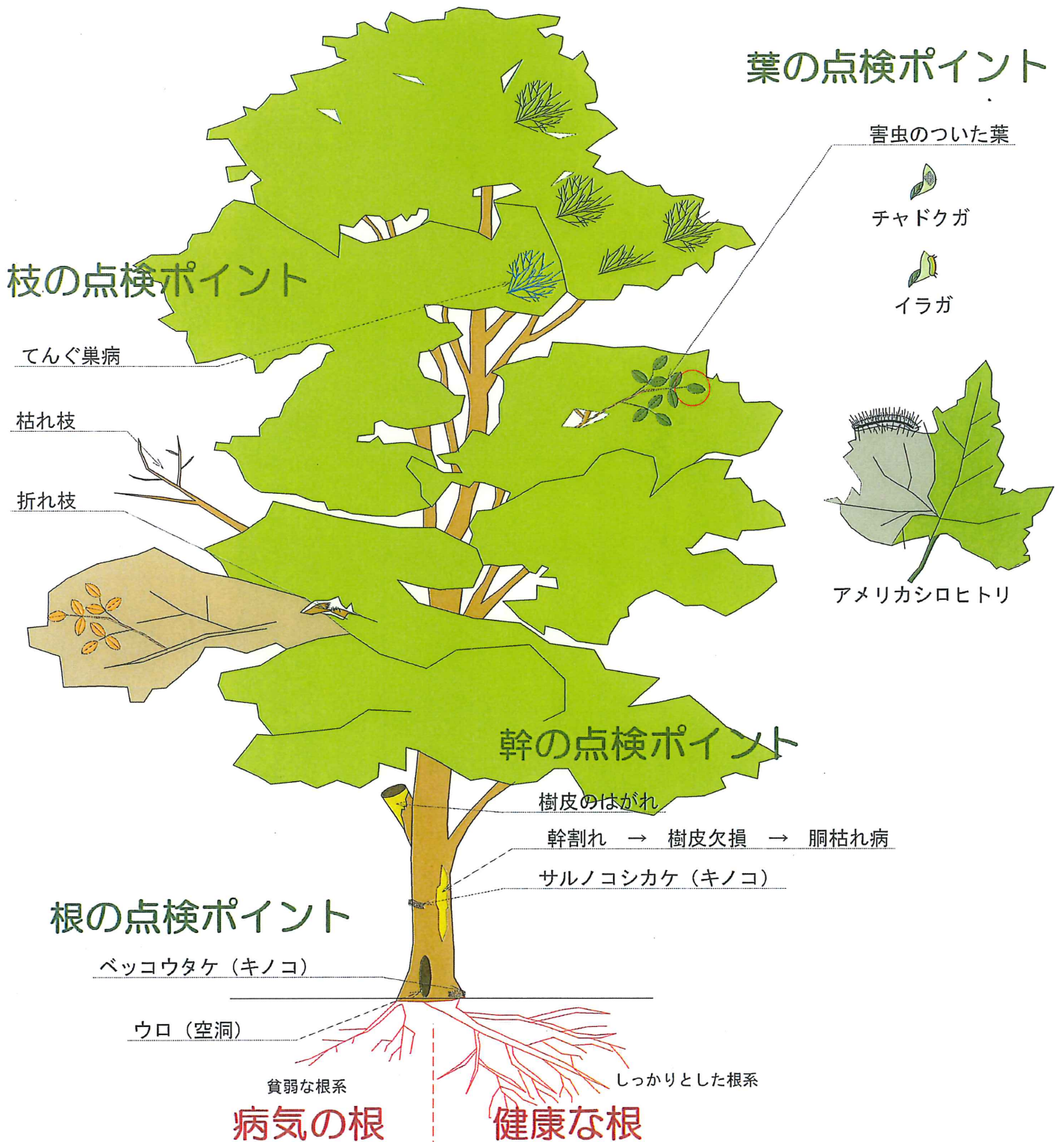


# 樹木の点検ポイント



# 樹木の点検ポイント

敷地内に樹木を所有されている市民（事業者も含む）の皆様に、樹木の維持管理における点検ポイントを紹介させていただきますので、参考にしてください。

## ◎ 枝の点検ポイント・・・樹木上部

### 病害

#### てんぐ巣病

サクラなどに見られるてんぐ巣病は、茎や枝が異常に密生して、ほうき状になるのが特徴で、花が咲かなくなり、やがて枯れてしまいます。



てんぐ巣病により、サクラの枝が枯れてしまった。

### 措置

発見次第病変の枝元から切断し、切口にはトップジンMペーストなどの殺菌剤を塗り、使用したノコギリやハサミも消毒してください。

#### その他の病害

日ごろから枝ぶりを観察し、昨日と違うと感じたら専門家にご相談し、適正な殺菌剤を紹介してもらい、消毒してください。

### 折れ枝・枯れ枝

風や雪などの自然災害が主な原因ですが、高いところにある場合には、落下の恐れがあり大変危険ですので、早急に措置しましょう。



※降雪が原因で幹から折れてしまった枝です。

### 措置

発見次第除去し、必要に応じて除去した部分の手前をきれいに切り戻して、切口に殺菌剤などを塗ってください。

## ◎ 幹の点検ポイント

### 樹皮のはがれ

誤った枝の切断や、日焼けなどが原因で樹皮がはがれる場合があります。幹の周囲三分の一以上の樹皮のはがれが、危険の目安となります。

#### 措置

危険と診断した場合、支柱掛けを行うか伐採の検討をして下さい。

### ウロ（空洞）

樹皮のはがれを措置をしないまま経過しますと、幹にウロ（空洞）ができ、樹木転倒の危険性が増します。



やがて、ウロになってしまいます。



#### 措置

支柱掛けを行うか伐採の検討をしてください。

### 病害

#### こうやく病

幹や枝の表面にシップ（こうやく）を貼ったような白～灰白色または褐色～赤褐色の菌の膜を作ります。カイガラ虫の排泄物などを栄養源にして繁殖し、幹や枝を一周ぐるっと巻いてしまうと幹や枝を枯らしてしまうことがあります。

#### 措置

発見したら、幹にカイガラムシが付いているか探し、その防除を徹底すれば自然になくなります。



#### サルノコシカケ（キノコ）

幹や根元の硬い木材の部分を腐らせて、スポンジ状にしてしまい、突然根元から倒伏させてしまうことがある、たいへん危険なキノコです。



#### 措置

大きなキノコを発見したら、早急に伐採を検討してください。

## ◎ 根の点検ポイント・・・樹木下部

### 病害

#### もんぱ病

紋羽（もんぱ）病に根が侵されると根を地中深く伸ばせなくなり、やがて枯れてしまいます。支柱をはずしたあとの樹木が、ふらつくような場合は、注意が必要です。

### 措置

根の周辺土壌に殺菌剤を注入して、支柱掛けを行ってください。改善されない場合には、伐採の検討を行ってください。



### その他の病気

根腐れ・根頭がん腫病など。

根元が硬い・窮屈・水はけが悪いなどが原因で、根が病気になることがあります。できるだけよい土壌環境を整えましょう。

## ◎ 葉の点検ポイント・・・害虫防除

枝や幹、根に分けて点検ポイントを説明してまいりましたが、害虫防除にポイントをおくと、特に葉の状況を観察し、発生初期に殺虫剤で駆除することが大切です。

### モンクロシャチホコ

#### 主な樹木

サクラ類（6～9月頃）



### チャドクガ

#### 主な樹木

サザンカ・ツバキ類  
（5～9月頃）



毒性が強く、死骸でも注意が必要です。葉の裏にいることが多く、触らないようにしましょう。

### イラガ

#### 主な樹木

ケヤキ・柿  
・カシ類  
（6～9月頃）



### アメリカシロヒトリ

#### 主な樹木

桑・サクラ  
プラタナス  
（6～9月）



問い合わせ先

伊勢崎市公園緑地課 電話：0270-27-2768

※伊勢崎造園協会の協力により、本冊子を作成いたしました。